

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	一側性上顎洞陰影の画像診断に関する検討 (B23-121)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授 山下 拓
他の研究機関および 各施設の研究責任 者	なし
本研究の概要・背 景・目的	上顎洞病変は耳鼻咽喉科領域における主要な疾患の一つであり、臨床的には頻繁に遭遇されます。診断に際しては、MRI 検査を行う場合が多く、また、手術の過程での確認を必要とするケースも存在します。 本研究では、副鼻腔の CT 画像を基に、鼻腔および上顎洞内の陰影の占拠率を評価することを目的とし、上顎洞真菌症、上顎洞乳頭腫、および歯性上顎洞炎という三つの疾患群の鑑別が術前の段階で大まかに可能であるかを検証します。さらに、年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、及び BMI に関連する疾患間の有意な差異の有無についても検討します。
調査データ 該当期間	2015 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院にて副鼻腔真菌症、上顎洞乳頭腫、副鼻腔乳頭腫、歯性副鼻腔炎、歯性上顎洞炎と診断が確定した患者さんが対象になります。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 背景：年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、BMI 術前の CT 画像における陰影の占拠率、陰影のパターン、歯髄炎の存在、歯根部的上顎洞への穿破、鼻腔への進展（中鼻道および総鼻道への進展の有無）、乳頭腫の診断においては基部の発生位置、そして石灰化の有無の評価を行います。これらの評価結果と術後の診断結果との関連性、および CT 画像における陰影所見の診断的有用性を検証することを目的とします。 2015 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は、北里大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 助教 担当者:藤川 直也 (フジカワ ナオヤ) 電 話:042-778-8111</p>
<p>備 考</p>	